

惠頓仰荒谷ニテ
御法
正像末和替久

少川新湯是ニテ臨風ニ記ス
雖ニ周ニ過一筆ノ謬リ多ヤレト
後ニ見ビト可有ニ積書

唱導聞記

○而天阿弥陀仏ノ廻向ノ^{是佛ノ廣大不思義ニテ}思相廻向ニ廻入

セリ、性相廻向ノ大要ヨリ^{思相ノ大要ヲリ}淨土ノ芥ハイヤセン、又

ツラク根元ヲヨビテ^{思ニテ}二帖ノ和聲ハ、五土人ノ體ヲ示シテ

淨土和聲ハ、五土ノ和ヲ示シ、高僧和聲ハ、七高僧ニ依テ示

セシ、御和聲ハ、是レヤリト、思召ノ、龍樹菩薩ノ和説般若ノ

廻向又近テ上ケテ、御筆ヲ示シ終ラシメ、其ノ後テ十卷

年月ヲ隔テ、康元ニ歲^{丁巳}二月九日夜、宣特キ、誰人伝

ヒトハ知ラサレヒ、ニエロシノ前ニ、告ケテ蒙リテ、ガ本トナリ、

ヤムコトシエズ、御精作ヲラセテ、ガ正像、夫ノ御和聲、

五十八首、伝中ニ、今^ニ七ノ御和聲ハ、第五十首、月、弟五十一首、月

ニ、顯シテ、性相思相^{思相}、右月ノ云テ、五ハ、七高僧ノ中テ、弟三ノ

見大師御教ニ依テ云テ云フ候ウ見大師ノ御教ニ依テ云フ
テハナリ大聖大如集ノ至心廻向ト至ニ説セウメマシラ受ケ玉
テホシ云フカ見大師又々更ニウケ玉メカ御同山ノ七ノ御和讃
ナリマツ其ノ至心廻向云ハ至ハ真ノ心ハ實ニトアリテ彼方
ノ御ニコト云コト其ノ御ニコトハ自位ノ修行マコトナ
ラサルハナリ一カノ御ヨリ取テ現ニテ再ニ信ヲサノ因位ニトナリ通聖コソ一服御成就ナシテモ
一点虚言ノナリマコトニテ御メ玉メカ御功作シハ未代ノ迄文ニ
云ハント思ヒメモカスノ功作ナハ唯タハ云ハスニ依テ而
元ア沙仏ノ名号ニ封フウジメテ云一ウメカケルソコヲ御至ニ至留
白ト説キ御同山ハ今ノ御初層ニ而元ア沙仏ノ廻向ト云モコト
次ニ見テ廣大ノ思マニシトハ惟コトハ思ウナ智殊山ニ云
頂キアリ大海ニ云底カアル今日ノ我レ人コノ而元ア沙仏御同向

ノ御影ヲニ依テ、永キ延ビシヲ後ヲ延リノ以ト志見從ハ、廣大ナリ
不思義ナリ、底ニ限リナキハ、此コトヲ而ア汝ハノ趣向ノ一ニシテ
ニサセシメ、其ノ次ニ、性相圓向ノ利益ト云、此法界ノ都コヨリ、再
法藏并トシリ下リ至テ、永ク久ク御修行アリ、ツイニ其ノ厭滿
延レ至テ、而汝ハト云、正覺ヲナリ至テ、其ノ御自取ノ至覺ヲナリ
至テ、御若常ノ性ニ至テ、其ノ性至テ、ト彼方御正覺ト然レテケテ、御我我ナシト云
イカンセン、今日ノ我ハ、三田六通ヲハ、二十五有界ヲ圓メ、ト云
果テメハ我ハ至テ、其ノモ一ヲ、方便ニ思ヒレテハ、尺迦ト覺セ七高
僧ト覺レ至テ、其ノ延ビノハ、至テ、佛化導ナシト云、サレ、彼方方
ノ佛化導ノヤリシ、此テ、有テ終ニハ、性相圓向ノ利益ニヨリテ
淨土ニ至リ、還相、圓向ノ利益ニハ、及ミテ、亦度サセテ下ッ
サレ、ト云、此コトヲ、性相圓向ノ利益ニハ、還相圓向ニ、趣入セリト云レ

其ノ次ニ至リテ、性相圓白ノ大善アリ。是相圓白ノ大善シラ
 サテコニ身身コトカハ、性相ノ方メテハ大善トアリ。還相ノ方メ
 テハ大善トモウ。是之自利ト利他ヲ上未共ハ自利ノ方メ
 下化友ハ利他ノ方メ取作心ハ自利ノ方メ度友心ハ利他ノ
 方メアリ。無量永劫ニアラフ者ミ深キヤホクマレシ良セ
 ラル。師善也カラ。憶ヨミ衆生此子、性相圓白ノ大善カラ。還
 相圓白ノ大善シカテ顯アキラカサスヒ云テサランヌガ大聖尺迦梵七祖、佛已
 通ナリソノミトリアラフ身身スルハ、佛見山ノ佛影ナリ。トキナル
 所、トキ保難タビガタシシレテ由ユニナシ、時キノ四ヒトキ種子タネヲ種ウ
 ハ芽ハ生ヤヌ、無量永劫々自ミテ、時キガワルカラフメコト何ホ
 ト仏法ヲ身身シラエ、持カ明カサンタモノガ今ハ宿善ノトキ至リ
 テ、口是レ偏ひとへに性相じやうさう思相しやうさう二種圓白ノ大善大妙ノ佛影
 ナリ。難有カオヤ奈也ヤ。御宗山藥笑ノ末世相違ト然他カノモ子ナリ。
 市一仙ノイハレヲ耳申シワケホラ私わづかひニ從したがふラモノ布ふ而しかた佛トオボサレ
 申セオ佛ケナシシタルヤ。佛ノヤリウシヤチ佛ぶつトオボサレ下ニ

ナリ次ニ世ノ面白ナリセハ、望土ノ其ハイヤセン、昨日ニテハ見ルニツケ
同ノニツケ、地獄ノ種子、極一計リスル十惡罪伴ノ我キエハ、一日
暮ヤハ一日タケ、道雲ノチネガ近カ奇ツシメタレ、二檀思、
御影ニ依リシノ信ヤラ変定シメハ、一日暮ヤハ一日タケ、望土ガ
近クナル、若ヤ加来ノ面白カナクハ、来来ノ性ノ老キナトシタモ
ノ、還相問ノ大出ハ、余此返テハナリ、御用山聖人ノ御化通ナリ、
まシラ我キハ、オヨボニシテ、還相問ハカハル汝タト云モノ、其ノ永尽ニキテ
望土ニ来シハ、直入ハ大會中、見ルヤ、吾教信、三明之通、皆具
是、憶我圖、後ハ行人、望土ニ来リテ、我カ心ノモシニ付、
早クヌ、望土ニ来シヨカシ、来シヨカシト、圖後ノ行人ノ憶、
フル、憶フユニ、衆生亦度シ、其ノ其ハ来ルトル、サハ、
我カハツイ、其ノ還相テ、現シタ人ヲ見タコトモナレハ、

ヤ
サレトモ心元トナイト思フハ凡夫ノ疑心ト云

ノヤ井ノ中ノカハズハ大海ヲ知ラス我々岸上ニ年ヲテ坐シテ

哀々境界トナラフ人明ニ知シ又知セハハテ思相大也シ是フ

キハツハナシメウラキ隨類不問臣サトヒトノ侍ワ致シテミミ夢妻トナリ和ノニキヲキテカレルキハツラシ

別シテメウラキ無常生滅シコトナリカラミミ導サクコトモアリ友同トナリテ

衆生ニ度ノカワテガヨケシメウラキ然ハ恒部ノ小屋ニオキ

フレシテ内性ヲ云ハ法義物語スル片市ハル吏テモ片市ハ岸上ノ仏

并思相大也ノ御言交作シ御相キトスルコトモアル近クニハ

御同山聖人ハ大悲隱ニ西家ヲ教養テ入火宅門ニ——
PRにモ

更レヤ——云

○修徳現青大智至大願ノヲナニ云レシヲ有情ヲヨムヲセタミトロイタ

々御耳耳ノ如ク正像未和聲ニ最シホサセラルコノ御初聲ノ源

信無間ノ生聖集御引キ遊ル生胎至信御至ニ依ヤリシ
尸身ノ善也ト智恵ニ方ハ御智恵ニ市ハ御善也サスニ引
ミ元来未ノ一大長ニコトククハス安良降土ニ尋ク身
規音ト現ル能カ至ト現ル玉一生死ノフナバタヘ十八願ノ般シコキ
去ヤニカメイササノミタメサル何ラ云フモ解ラズモ迷ヒ
果ツルハス早ク助ケタマフ救ヒタヤト思フラス御同山ノ切ナル
御意カラ歟シホサスル人ニ此ノ御和音ナリ終度モ身ノ切
愚カモ知ナシ道ヲキエスコトヲタトフヌテ救ヒケメサルハ沙殊
御本取ラ大般ニ御前ニセシタマツ初ニ汝規音大勢至コノ娑
婆ニコノ三念ヲ觀シ玉テ我カラ指キ喚ビヤルミスハ天竺
後日本ノ一後ト云ニ付テ七ノ和音ヲ日本ニ觀シシフ方々
テ云ハ和國、教主聖德太子ハ觀世音菩薩、法苑上人ハ勢至菩薩

我カ御用山聖人ハアハ殊ノ御化似ニノ三尊最シ玉々ニ
 コニテコウ申シテハ御秘傳ノ思匠ニ合ヌ七ノ御秘傳ニ御用
 山ノヲハアハ以仏ノ化似ヤト仰ヤルニキ答フハアハ、彼市ノ御
 在セノ御弟子、^{御用山}不思義ノ端ヲ舞ニ奉リ、或ハ^{佛井ノ}雲夢ヲ蒙リ
 玉ノミテ未代ノ秘傳、聖人ハ正似ノアハ以仏ニテ在スル一合
 点スル、牛ニ似市ハ御一代カ智ヲ遺老トクト名乗ヤ之テ、仏
 化似ト云フコトハオクニモ、御也之ヲ、牛ハ、^{御用山}以規育大執至
 トアルヲ、^{御用山}雲夢ニ寄ヤテ申ストキニ、汝トハ御用山聖人ノコト、
 云テハ、^{御用山}ヲハ、汝ノ化似ヤト仰ヤルニ、^{御用山}合シテハ御秘傳ノ思
 匠ニ合ヌ、牛ハ、^{御用山}汝ノ雲夢ニ合ヌ、云テ、^{御用山}牛ハ、^{御用山}何ニト會通ス
 ツト申スニ、根本ヲ云フハ、^{御用山}而チ大聖尺迹集ガ、^{御用山}アハ殊ノ
 御化似ト云フ、^{御用山}久遠良師ノ、^{御用山}アハ以仏ガ、^{御用山}化似シカ、^{御用山}シ、^{御用山}我カ^{御用山}

目ニ舞々ニ相忘ノ意也。舞々ト顯レテ又シ度度進ル。其ノ尺
也。舞々大經御堂久ノ侍ハ、法陀三昧ニ入マシ。老觀龍々ノヨソホ
シ顯レテ、徑奇舞、法徑精妙、久徑最勝、テ五德ノ相ノ顯レテ又ク吏
シ何難智者、見トカメテ一行如來作、徑通導師、行、必スノ尺進リ説クホトニ尺進
至ヤトハ思フナ、今日ニ限リテシニナリテ、シノ至シテ説クホト
ニ是フナアヤフナト仰エテ説セシメカ大無量壽經、其ノ大
至ノ第十八卷ニ至心信衆——國トハ——本願ノ其ノ本願シ仰
同山ノ舟ニ皆削リヤエテ、大願ノフナト云フ、舟はモノハ大海。ウ
ナバララ心易ク起ルモノヤ、是レノ海ニ仰テ居ル我ニ賴ル者、
シ助ケ救ント、誓ハセシメカ第十八卷ノ舟ナリ、是レガ唯シメテハ
コノ而テアハ仙ヲ信セヨトアリ、又シノ國一テカレモノモ——ト
規也。昔々ハ御堂出シツカサトリテオハシテス、大勢至菩薩ハ

尸波律ノ御智恵ヲツカサトリテ佛をササハ、
観世音菩薩ノ御
名ハ具サニシテ、
世間ト云フコト、
シテ、
ハミシタ又云セハ
世間ト云フコト、
世ノ中ニシテ、
子孫ノ
注シキテ乳
ヲ食ル加ク、
今ノ観音菩薩ハ、
其ノ故、
世間ヲ自由自由ニシ
テハミシテ、
迷ヒノサケキノ声シキコシメシ、
而テ、
佛ノ法味ヲ
食ヘテ、
観音菩薩ノ御修持ナリ、
大勢至菩薩ノ智恵ヲ
得サトリテ、
戒ノノカク、
コノニ、
以テ、
外ニハ、
アリテ
一ムノ、
智恵ト云フ、
外ニ、
觀世音菩薩ノ
ハミツタ、
一ムテ、
佛ヲ、
通別ノ、
カ、
申セ、
ハミツ通
義ノトキハ、
五通化、
觀音、
別ノ、
義ノ、
ハ、
此ノ、
觀音菩薩ノ
觀音佛ハ、
一ツナシ、
ニ、
合ル、
ニ、
所難ハ、
一人ナシ、
花ハ、
花ヲ、
集、
ノトキニ、
大、
ノ、
所難ト云、
所、
集

七ノ規音聯至

ノトキ三ノ小章ノ何難ト云、今之其ノルノ、以ニ高スル中ハ望
ノ并ト云ハ、聖通化義ヲフルニ、玉フ中ハ、聖通ノ并ト云ハ、
此ニ今ハ、望ハノ規音聯至ニ、聖通化義ノ并トナリ玉フ中ハ
ハ大ニ遠フテ、アハ仙ノ念仏衆生ヲ降土ニ迎ヘ、あり玉フ、
歟不接ノ御判書、アハ降ノ要也ト智恵トノ顯シ、名不生
有、不取玉買ト、顯ハヤシメ、アハ降、本願ヲ御成就在ニテ
念仏ノあり降土ニ迎ヘ、あり下タカル、其ノコトヲ降安タニ顯シテ
フルミヤセウル、ガ降土ノ規音聯至ニ、聖通化義ノ規音
ト云ハシ玉フトキニサ、一而友ノ苦ミノ声ヲ聞シメシテハ、ソノ
ニ利益ヲ授シ玉フ、安タラ、橋土ニ止メテハ、メ多ニ親ミ、手軟並
此ノカシハヤシ、顯シテハ、メ多シ、サツケ、三十三、又シ、又シ、
妻子眷屬ノ候ミ、ソモ、以ニセ、官位福祿ノ取ヒシモ、

女ノ心ニ隨フテ、肉蓮蜜舌ニテ、早クモ廣モ極メノ性生
 セヨト、御通サキ下メサレ、佛名タニ、極メモノヲ、極ル心ノ起ル
 ヤリニサシメテ下メサレ、若シヤ若シ、妻子眷屬ノ胸ヒシ肌
 ノ通リト、又、玉ノ毛、如詮、念仏ヲ申スニ、イサスハ、口々今世一
 且ノ利益ヲ与テサシ、サタモノヤ、化傳、歸送ハ、尊ト
 樂音、寶ニ、御尺シ、甚テ、規音、牙、女ノ極シ、調一サセテ、尊
 王ノ乳、ハ、アハ、年ノ、岸土、くト、御通サキ下メサレ、道理、コノ
 日天師、月天師ト、御サリ、甚テハ、東シヨリ、云テ、西シニ入セウ
 シ、我カ性ノ、乳、極メ、岸土、西カシ、取一ヨト、日、毎、く、御メ
 形ル、又、夕、規音、若、聖、能、太、子、ト、サリ、玉テハ、カ、氏ノ、業、ヲ、オ
 一、テ、專ラ、念、仏、シ、御、カ、メ、甚、メ、七、日ノ、服、奉、ノ、極、メ、サ、ト、シ
 云、テ、念、仏、シ、御、カ、メ、下、メ、セ、タ、午、ウハ、聖、道、化、メ、ノ、規、音、響

至モ、因薰蜜益、念仏ヲ申シ、西市ノ住生ヲ遂ケヨトノ
師加ノ者、久遠劫ノ昔シヨリ、有今時ニ至ルニテ、生死ノ海ニ
迷ヒ早テヌル我ホナリ、其ノ迷ヒノ方、規育サ、憐ミ在シテ、
親ク親ミモフテ、利益ヲ施シモフ、其ノ因薰蜜益ガ本心
今歟シ奉リ、宿善當来ノトキカ至リテ、カル——久遠
コノ二井ノ御影ニ相立ル、幾永劫、規育サニ恵ミテモ、
弊至サ、ガヤケシ、乱解ハ、用ケヌ、宿善、用究シテ、信行、
一念、悟キ至リ、初得住生ト、住生ニ是ヒ、心ノサナリヌハ、ミコノ
大報カ、正サ、御利益、住生ニ是ヒ、ナリハ、光明ニ接
ぬセウシヌシ、ミコノナリト、エセシ——午ハ、花ノ二サ
自由ノ用キラサシテ、衆生ヲ救度シモフ、用ソツテ、我
ク、此テ、洋土ノ住生ヲ救ケ、規育弊至ト、等ク、普川示

現ノ顯シテ示ムヲ存度スル以トナリ、思ノ林ニ遊ビテ神
通ヲ現シ、思ヒ人信ニ存度スルハ、現青碧至ニ等クシテ、
カハルヘハナリ、是レ偏ニ墨相ノ利益也ト云フニサノコトシ
聞クニツイテハイヨク、我々ノ上ニ喜ブキコトナリ、サテハ七
おも愛イニサ、キカモアは株ノ侍存トシテ、右キ在リニツキ
リテ在ス、人聞トシノ中デサ、主人ヲ教ムトシテハ、付キソ
ノモノ也テヲ教フ、汝や、アは株ヲ信シ、念仏スル所存ア
は株ヲ教ヒ奉ル上カラハ、ニサシモ教ヒササモ、は株ホト
テナクヒカシハ、念シテモヨサラサモノヤカ、モニ岸上真実
ニス、一ノ堂ノヌソト云ニ、丈レヲ答テ云ハ、マワ尺牒ノ聖教ニ
ヨル、師ナ大至ニ一白身念無量者仏ト説ヤラテ、又々ハ
マヤリテ、脇士ニツカウルコトナレト仰々云テ、アヤマリテ

トハ、説文ニ往看、アザムク、ミメリ、イトツハル、ト註シテ、新選
ノ言ニ、アザキ、改ノ本取ツミメシテ、アマリテモ、脇士ニハ
ツカウ、カラス、ト御呵リ、遊シタ、セノ御キツ守リ、今時ニサ
シ、学、学ヤマ、サテ殊ミ奉ル、アハ殊、右キノ御キツ上ツ、上ケ、右
ノ御キハ下メ、サケテ、在ス、一市ハ御智恵、一市ハ御善也、通クニ
上、来サ、下化、御ナリ、フリ、有、情、シ、ヨハ、テ、セ、タ、ラ、ト、ハ、有
情ハ、ぬ、コト、一、京ノ、車、山、真、地、臺、ノ、如、未、ノ、御、歌、ニ、イ、ツ、ケ、人
改ノ御舟ノカヨウ、セ、キ、リ、ラ、シ、ハ、誰、ガ、ワ、メ、サ、シ、キ、ト
大風大
ル、御理、シ、耳、ニ、メ、ブ、ク、聞、キ、テ、ラ、モ、ソ、ノ、舟、ニ、キ、ル、ミ、イ、ナ
ラハ、何、ノ、詮、ハ、ナ、イ、ハ、モ、一、其、ノ、氣、ト、ハ、ミ、カ、ス、ル、コト、任、ス、ル、ト
ハ、子、ハ、親、ニ、任、ヤ、家、来、ハ、主、人、ニ、任、ス、ル、ヤ、智、恵、ア、リ、シ、モ、
自慢、心、ヲ、オ、コ、サ、ス、愚、ナ、ル、モ、ノ、ナ、ハ、ト、コ、シ、テ、ハ、キ、キ、ニ、一

御取越

トハ思フナ智者モ愚者モ一ソコヲ任スルト云々
坐生任招喚ト有レ是等ニ何ノ以テ一テハ西ノ岸ニ人有
呼ンテ云ク汝一ハ正念ニシテ直チニ来シ我シヨク出テソコニ車
モ人ノ声アリテ出テソコニハサ一其ノ通チヲ尋チテ其
直ニ往ケト有レ是ニヤリ彼ニ呼フキテ如様ナキ有出
雁之羽ノ遊ラモノト細コトナレニ本取ニスカル行者
其ハ更ニ其ノ殊院現チ有勢有ノ三等ノ救ニ任セタ難有
念仏行有ヤト仰セラルソコヲ今ノ御教ニ大取ノ舟ニ乗ス

タタ御身ノ御和聲ニ殊院大進ノ折テ取ヲ
而テアツタルトナシト又ト勤シキヤラセ
御和聲ノトクノ深信高ノ性生要集ト御聖教ノ御心

和テモ之ヲ御和^ニテ^ハ 御^ニテ^ハ 淨信和^ニテ^ハ 御^ニテ^ハ 若^シ不^レ然^ニ規相
有^ル依^ニ般^ニ重^ニ相^ニ 依^ニ引^ニ接^ニ相^ニ 依^ニ生^ニ相^ニ 當^ニ一^ニ心^ニ正^ニ念^ニ 行^ニ住^ニ聲
別^ニ五^ニ難^ニ作^ニ々^ニ 創^ニテ^ハ 如^シ欲^ニ食^ニ渴^ニ有^ル 如^シ飲^ニ水^ニ 忘^ニテ^ハ 仰^ニテ^ハ 仰^ニテ^ハ
尺^ニ文^ニヲ^ハ 一^ニ首^ニ四^ニ司^ニノ 御^ニ智^ニ是^ニ 遊^ニヤ^ニシ^ニ ア^ニ汝^ニ律^ニノ 大^ニ善^ニ大^ニ也^ニノ 御^ニ
茲^ニ也^ニ 是^ニシ^ニ 聞^ニケ^ニ 是^ニシ^ニ 信^ニセ^ニヨ^ニ 惟^ニカラ^ニメ^ニ ア^ニ以^ニ律^ニノ 御^ニ並^ニ也^ニ
や^ニ也^ニ コ^ニト^ニシ^ニ 示^ニサ^ニセ^ニウ^ニシ^ニ 御^ニ和^ニ智^ニテ^ハ マ^ニツ^ニ 御^ニ 殊^ニ陀^ニ大^ニ也^ニノ 極^ニ也^ニ 則^ニシ^ニ
今^ニ 御^ニ身^ニ身^ニノ 御^ニ和^ニ智^ニ人^ニ 殊^ニ陀^ニ規^ニ者^ニ 大^ニ智^ニ至^ニ 大^ニ知^ニノ^ハ フ^ニ子^ニニ^ニ 年^ニニ^ニ 則^ニシ^ニ
百^ニ情^ニシ^ニヨ^ニウ^ニラ^ニセ^ニタ^ニラ^ニ ア^ニ汝^ニ律^ニノ 御^ニ呼^ニテ^ハ 各^ニハ^ニ 而^ニ云^ニ ア^ニ以^ニ仏^ニ 御^ニ者^ニ
号^ニ其^ニノ 名^ニ号^ニヲ^ハ 聞^ニ信^ニサ^ニセ^ニト^ニテ^ハ ア^ニ汝^ニ律^ニ規^ニ者^ニ 智^ニ至^ニ 伯^ニ子^ニヨ^ニク^ニ 遂^ニ
ノ 海^ニニ^ニ 泥^ニル^ニ 我^ニ我^ニ 是^ニシ^ニ 聞^ニケ^ニ 是^ニシ^ニ 信^ニミ^ニテ^ハ 侍^ニ設^ニケ^ニテ^ハ 乃^ニ律^ニ
土^ニニ^ニ 集^ニシ^ニヨ^ニト^ニ ヤ^ニム^ニコ^ニレ^ニシ^ニ 尸^ニズ^ニ 御^ニ如^ニメ^ニ 遊^ニシ^ニタ^ニ ア^ニ以^ニ律^ニハ^ニ 直^ニテ^ハ 三^ニ集^ニシ^ニ
ト^ニ 招^ニガ^ニセ^ニウ^ニシ^ニ 其^ニノ 御^ニ和^ニキ^ニヲ^ハ 近^ニク^ニ云^ニハ^ニ 正^ニ信^ニ偶^ニ 御^ニ和^ニ智^ニノ 御^ニ文^ニニ^ニ

近テカ皆ナ假市ノ御呼ヒ声^ヲ其ノ朝々々々ノ御呼ヒ声
ニ任セテ念仏往生トフカリ信スルコトヲ只今ノ御和曆ニ
顯シ奉サヤラシム故コトデ弥陀大誓ノ誓言^ヲ
^{フカリ信ヤンヒトハミナ}
^{子ニモサメテモ一タテナノ}
而モ又汝等ヲトウ^レしト仰セ之ケルニ是ノ御和曆ノ係私ト
其ハ深信秘藏ノ御尺ニ著シ不疑^ニ契相^ニ有ソト仰セラル^ニ現現
会相ハスカタル^ニ其ノ規念現法ハ心口老^ニ止ラセハ一向持
明ヲ移サ取奉相ニヨリ引接相ニヨリ往生相^ニ見ル^ニ取奉相^ニ元ハ
アツ株ヲ契^ニ取奉スルナラハ計ニナシ本取^ニ兼じ取奉ヤヨト見
引接相ニ見ル^ニ假市ノ直チニ来ル^ニ佛指キ^ニ任セテワキメツフラ
ス佛並あ^ニ生じ^ニ往生ヲ遂ケヨトアル^ニ往生相ニ見ル^ニ来迎
ヲ承^ニモ^ニ其ノ心口テ以ノ事取^ニスカシトアリ^ニ実ニ九品往生
が假市ノ佛事意^ニテハナク^ニトシカラナリ^ニ思召ス^ニ深意夫

悲ノ御作署ヤラ九星生ヲ取フ旨ノ心ヲ生ヲ取ト
 アル其次に至リテ一心正念行住坐卧五顯作とアル其ノ心
 ハ一心ナキコト正念トハ至心信柔動生我同ノ三信ノコト其ノ
 三信ハ至心ハ真実信ト信柔ハ疑ヒノ無キ心ハ動生我同ハ
 生ニ疑ヒツキタレハ真ヲ得タタリコト喜ブ心ナリ
 水ヲ掬スルハ月ノ中ナリ花ヲモラアノデ採ルハ香ニ満ル
 己ガ手ニ水ヲ盛ルハ天ノ月ハ掌ニウツル 予ニ花ヲモテ
 アソビハ白ツ香ツて 疑ツタニ 疑ツルハ 生ノサマニシルニハ 慶喜ノ心
 オルテ 慶喜ノ心オフルニシルニハ 佛見教スルオモヒアリ 信心受
 是スルノ意ヒノ也ハカラタニモ 疑ツ 自ツラニモ 其ノ香ニカ 疑ツ
 テ 其名ハ稱ツラル、然ルニ今ノ佛ノ行住坐卧ノ四威
 義五顯作々トアル 行住坐卧ハ—— 我ガ境界是しヨリ

外。或ノシギトコロムナイ。五歌作々トハ行キ合ラモ即ハ任ラセ
即ハ^座座ト余ノコトナシニ祢(亮)ト有ルコト其ノ祢^亮ラニモ々
徒ラニ祢^亮ヨリハナイ。飢タル者ガ食ラ得タコナラナシ。渴シ
タル者ノカ水ヲ得タコナラナシ。我々^亮トアル。我々ニ取リテハ
ナフト迷取ナ御詞ナ。我々ハ飢タル中ニ食ヲ得タマ
ハ思ヒズ。渴シタル中ニ水ヲ得タマハ思ヒヌカトイガセン。是
レハ信ハスハ云ハシニイ。領解ト云ハシニイ。ト思フ。心ロカラハ
度ノ望ミナリヲアヤナクモ思ヒ。エカシクモ思フ。一ヤカ是
ハサントシメモノソト云ニ是シニハトリヤウガアル。其ノトリヤトハ
行任座卧ミナレニ我々我々ハ。臆^{ヨリ}怖^{ヨリ}に事^ト常ニ後シ——スルト
方シカラモノニナルコト。今日ノ煙リヲ立テカ子ルヤナ。貧^キ者
ハ山海ノ珍^メ物ヲ欲^スミハヤヌナリ。尼ト思フ。今日ノ我々人

仏法ノ食物ニ飢^レ渴^ルニタ^ルハ^ニ聖道ノ^ニ趣^キ法^ニ川^ニ
總^ニ聞^ニミ^テ難^ク有^ルカ^ニハ^ニ八^ニ万^ニ四^ニ千^ニノ^ニ法^ニ川^ニニ^ニ無^ク難^クノ^ニ名^ニ号^ニノ^ニ
信^シ喜^ブハ^ニ飢^タリ^モノ^ニガ^ニ山^ニ海^ニノ^ニ珍^ニ物^ニヲ^ニ正^ニ々^ニ仕^ニ合^ニト^ニミ^テモ^レ
何^ニモ^ト御^ヤ化^ス身^ニ身^ニニ^テモ^レ一^ニ字^ニ一^ニ字^ニ負^ヘル^{コト}ノ^ニエ^テ又^モ其^ノ
ミ^キ愚^カナ^ニ貧^ニ人^ニガ^ニ頼^リタ^リ計^リテ^ニ生^ニ生^ニ一^ニ定^トト^ニ解^ル解^ルカ^ニハ^ニ喝^ス
シ^タル^モノ^ニ水^ヲ正^ニ々^ニ仕^ニ合^ニト^ニ難^ク有^ル存^セタ^リマ^ツ初^ニ弥^陀
大^ニ也^トハ^ニ弥^陀ハ^ニア^ニハ^ニ仏^ノノ^ニト^ニ大^ニ也^トハ^ニ彼^ノ方^ノノ^ニ御^ノ意^ノノ^ニコ^トト^ニ難^ク取^ル
ト^ハ彼^ノ方^ノノ^ニ正^ニ々^ニ負^ヘル^{コト}ヲ^ニ物^ノニ^ニテ^ニ御^ノ意^ノ在^シタ^リ第^ニ十^ニ八^ニノ^ニ
本^ノ取^ルノ^ニコ^トト^ニサ^テ其^ノ難^ク取^ルニ^ニ御^ノ用^ノ山^ノ聖^ノ人^ノ生^ニ相^ニ信^ニ心^ノ取^ル念^ノ仏^ノ
生^ニノ^ニ取^ルト^ニ名^ヲ付^ケテ^ニ置^ケル^{コト}ノ^ニ目^ノ耳^ノノ^ニカ^ニ頼^リテ^ニ
即^チシ^ト御^ノ本^ノ取^ルノ^ニ聞^クテ^ニ生^ニ生^ニ一^ニ定^トト^ニ念^ノ仏^ノヲ^ニ喜^ブコ^トヲ^ニ
ヲ^ニ念^ノ仏^ノ生^ニノ^ニ取^ルト^ニ御^ノ意^ノ之^ニ次^ニニ^ニ生^ニ相^ニ信^ニ心^ノ取^ルト^ニハ^ニ今^ノ度^ノノ^ニ生^ニ生^ニ

信や^シぞ、是でサハ氣レヌオトニ信^ハツ得^テシ、望^メノ性生^シ厥^ト見^ル
コトヲ性相^信信^ハノ厥^ト見^ルイヤソノ信^ハツモクキ、アギタ^ル
ホト事^致シメツラシカラヌコトホト思^フトモカラ、有^リハシメセシ
若^シアラバ十^万残^タヌヒコトノ寔^リ化^身ノ詮^ハナイ、^聞ク度^ニ
イヤメツラシヤホト、ギスイツモハツ子^ノミニテコソスシイツ事^ヲシ
モ助^リ難^ク、ホノ境^界ガ助^ルハ念^仏性生^ノ御^誓身^難有^シホシト
喜^ブ若^シホノ信^ハ汝^ハヨリ外^ニ眞^ツ際^キコトヲキカワト思^フ者^ハ
ハ二^等ノ哀^ミハツシ本^身ニセシホシト御^言ル、御^用山^聖人^ハ
念^仏レテ汝^ハコトニイラス一^トヨキ人^ノ御^言ヲ蒙^リ信^スヨリ外^ハ
ナイト御^言ヒアラセシタホシニ一^類ノ様^{アリ}テ念^仏性生^信心^性
生^ノ汝^ハシ致^シ信^ハツホト云^ハバ重^キヤウニ思^フ、念^仏ト云^ハ怪^シ
ヤウニ思^フ、^所トク思^フハ大^キナリ、^一通^フヤ信^ハ

トテ六字ノ外ニアル一カラスト云ハ名号信心別モノテハイ心。
ニアリテハ信心ヨリニアラハレテハ名号信心ハ是レノ晴シタルカクツノ
是レノ晴シタル而テモ此ノ六字ヲ相辛トシテモ是レノ晴ス事ノ
是レノ晴シテ下メサレタ而テモ此ノ御名号ヲト思フハ極ルナ申ス
ナト云ハレテモ 極ムス居ラヌハズ申サスミ居ラヌモ 生々此ト
領解シタ上ニカラハイヨク 懈怠スラヌナリニ生々此ト
而テ私シラハ 物々下メサル、ナラズアハルモモノシト思フハ計ラサルニ
―世中ニ於テ令ニ過タルコトヲ云フヲ過ノ語ト云而テ
稀ル計ラテ生々スルハ過ノ言ハト云モノ 常喜ニモテ是ハルハ
生々ナラハ假テカノカクニ於テモ 仕様アロウニモ何ニシテモ
我ハハレボトク生シツ―テ一窓新スル器量ノナイ我ハハルニ
ナリ又ク直ノモノヲ相辛ニナシ 一カク信ヤンヒトハミナ――極ニ

トハ何^ニトモ合^ヒ上^ノ佛^ヲ又御和質^ヲ我^カニハ似^テモ似^ツカヌコト
テハナ^イガト申^ス申^ニイヤソ^ウハ云^フナ^ニフカリ信^スルハ深信^ノ又宗^ヲ
深信^ハ淺信^ニ對^スル我^カカ^ニタハアサケ^シヒ——其^ノ法^ニ子^テ
モサメテモ一^ニタ^ニナ^ノ而^テア^ハムシトナ^フし是^レ又我^カニ知^リテハ
迷^惑ナ御^カメ^テシキテ長^クハ——ト申^ス申^ニ此^ノ中^ニハ御^カメ
ノ御^カ詞^ガ有^リ邪^見ナモノ^ヲ戒^メテ^ハナ^カラハ子^テモサメテモ一^ニタ^ニ
ナ^ク而^テア^ハムシ^ヲ極^メヨト御^カメ^テ我^カハト^フモサ^ウハ極^メシセ
ヌガト云^ハハ生^シ一^ニ途^ト乞^フ解^シテ御^カ五^無二^ニ佛法^ヲ喜^ブア^ハ
實^ニ心^ト難^シ有^リ希^シト思^フハ極^メルナ^クト云^ハテモ雨^ノ山^ノ靈^ノ
心^ト我^レテ似^テハ^シ願^シテ極^メガヤ^ルニ終^ラフヤト云^フ子^テ
モサメテモ一^ニタ^ニナ^ク而^テア^ハムシトナ^フしト云^フ——。家^ノ来^ノ不^レ
期^ヲ端^ハ主^人ノ誤^リトナ^リ主^人ノ名^ヲモケカスト云^フモノ今日

市取三

我人御宗凡ニソムキナバ御宗ノソリヲウケ一聖人ニテノハナ
シカケミイラスルト云モノヤホトニ御互ニ一様ヲウケ大甲ニスキ
フコトナリ

正像主和齋ニ新迦ノ教法ニシセト修ミキ有備ナキニ人モアツトトキ
ミタフト願シホサセヨメコシヨリ次ニノ御和齋ニ本度ニ以ノ本
願ヲ信シ而希ノ性生ヲ遂ニハ必スリ夫ノ計ヒシ入ルアリ
埒ノ計ヒニ任ヤヨトアリ吏レヲヒク今道尊禪師ノ意ハ依依ハ依人和
玉乃近扶皇其ノ近扶皇ノ御セテ一首四句ノ和齋トナセタ依
ルヒトスル御至ハ弟集月藏至也御至即チ其ノ御至ニ我未
法將中儀をふ起行修道未有一人得者一ニ御教化
短キ和齋トナヒ教行信誼ノ四ツノコトハツルニ一大夏ヲ次下
サレ、ミツ御ニ新迦ノ教法ニシセト云ハ有教無人ニ御意ナリ

欣ス一キ有情ナキニトハ、爲修無人、故ハサリウルモ、未法ニ
入モアラシト申タラトアルコノ三四ノウハ、未法ニ至リテハ、誑リ
ウルモノ一人モアラシト御セテハ云コト云テニ大垂天也、年元也、入涅槃、
未一五百年ノ間、正法ノトキト云、未一スキテ十年ノ間、
像法ノトキト云、未一スキテ五百年ノ間、未一セト云、未一未法ニ
初メテ五箇ノ名ヲ得、三毒、五欲ガ盡リニナル云、修行學道ヲ
致シ、誑リウルモノ一人モナシト説ヤリタ、其ノ説キモフハ、トナガ説キ
テ、大垂天也、年元也、入涅槃、未一スキテ三十八百八十八
卷、十部、五、五百八十卷、律藏ガ六百四十一卷、經藏ニ責ツク
ルニ、御至、禪宗ノ
禪師云ガ、己ホトノ御至ヲ、其ノ自來、
渡ヤリタ、己ホトノ御至ノ中カラ、着集月、經至ヲ取、出サセテ、
是レヲ見ヨ、天也、地ノ御至、言ナハ、是フ一キヤラハナシト、通、禪、禪

師示レモフ、更レテ御会ケキテ、吾カ御用山、七ノ御賢ニ、祇迦ノ
 教法、マシマセト。能キキ有情ナキユニ一人モアツシト申タラ、祇迦ノ説ヤ
 ラシテ御至ハ、アリハアレシ。終ス、キ有情ノナキユニ、サトルモノガ、人
 モナイト御ヤ、サトリモミナキハ是ノ修ズ、キハ終ハ、修行トフ、ニテ、終レテ、
 仏ト、是レヲ運ンテ行クカ、サトリモミナキハ是ノ界カラ、真如実相ノ仏果ニ
 テ、自カノ修行ヲ積ツキ直ニテ、サトリモミナキハ後通ヲ定メ、証リニ至ラントスルハ、
 是レヲ運ブ、アヲサモノヤ、サテ又ニ昇コトガ、サトリモミナキハ是ノ修行、
 後通、祇迦尊ノ御在世ニ、サトリモミナキハ知メタモノナラン、今ノ未代、サトリモミナキハ知メ
 ンシヌコトハアルニ、イト思フ也、サトリモミナキハ我ハヨリモ、サトリモミナキハ知メタコトヤ、ソノヨリ
 ツカレヌ、誤ケラズニ、サトリモミナキハ罰ハ、一斗、ミスノ米ヲ、サトリモミナキハ十ニスシ、以テ斗リ、サトリモミナキハ
 テ、サトリモミナキハ是レ、サトリモミナキハ其ノ斗リ、サトリモミナキハ金ケタ、サトリモミナキハ注川ハ、サトリモミナキハ大衆、サトリモミナキハト十、サトリモミナキハ年、サトリモミナキハや、サトリモミナキハ若、サトリモミナキハ徳、サトリモミナキハ大
 衆ニ、サトリモミナキハ真如実相、サトリモミナキハ第一、サトリモミナキハ空、サトリモミナキハ界、サトリモミナキハ未、サトリモミナキハ攝、サトリモミナキハや、サトリモミナキハ若、サトリモミナキハ十、サトリモミナキハ衆、サトリモミナキハ修、サトリモミナキハ入、サトリモミナキハ見

歸依道二那合羅薩新五下ヲ除キ五上ヲ無二同ヲ道二俗ニ若シ命ヤ
 是レ聖ミ迷ミ罪ツ何レ暮ル以テ雙ニ面ニ異ニ是レ以テ諸レ大ニ妙ニ初メ敷キ作ス上ニ
 トアルコノボトノ夏ガ今ホノ御和育ニ納リテアルマツ其ノ大業ノ
 法門ハ未作ノ良夫ハ一心口ヲ奇ヤ之ヌ心口ガ奇ヤ之ヌ計テハ
 サ言毛云ハヌコト也其ノ中ヲ下ニナシ云ホリナラハ下四
 弘誓取トテ大業考ニ入ルニ初メニ四色トノ取ヒシ覺サハ
 ナ如真ノ四色トハ一六衆生无边誓取度二而シテめシテ衆生ニ云
 煩惱無尽誓取断新アリト云元はシ三法門無尽誓取断
 而シテ法門ノ意ヲメニテ四六無上誓取断終云云ノチ仏号ノ
 知リヤキヲメヤト一六六衆生ニハサトリシテカウトシ一六
 四ノ取ヒシ覺サハ一六四色トノ中ニ初メノ一テ我々が及
 ムル一ハ知レ一切衆生ヲ度度シ尽ラサト云一ハシトケニ毛
 云ハヌ一ハ知レ一六我々一人ノ行ノ末サ一我ヒト我々ニ

埒明ヌ之ニ永クスル故ナリ。師者常シウケニイラセタ。古ノ聖リ
ハ平^{テヒラ}平^{スラ}ニ由^ユシフキ、灯^{トウ}真^{シン}ノミラ、相^{サウ}為^シシコラシキノ師也モ
アル、ケレヒ我ハ真ヤヤノ實相ヲ第一ニ定メヤノル
ハコトケニモ云ハレヌカ、十^{大乗ノ法一スルハ}章^{ハスハ}ハトウゾトムハ修^シ見^シ諦^シ修^シ道^シ乃
至^ニ那含^ニ男^ニ婆^ニ斯^ニ五^ニ下^ニ流^ニ五^ニ上^ニ立^ニ同^ニ通^ニ俗^ニ其^ノ上^ニ之^ニ劫^ニ相^ニ念^ニ
人^ノ別^ニ相^ニ念^ニ此^ノ總^ニ代^ニ一^ニ法^ニ十^ハト是^シカ^ハ却^メラ^ルカト^ハア^テカ^ハ一^ハ五^ハ一^ハ凡^ハ十^ハ
ガ^ハ今^ハ日^ハノ我^ハ人^ハハ^ハ行^キキ^ハ布^ハ又^ハ見^シ諦^シ法^ニ見^シハ^ハ見^シ道^ニト云^フコトデ^ハ未^ハヒ^ハ
目^ハト早^ニトラ^ハ定^リト^ハ見^シ定^メテ^ハス^テ須^ニ陀^ニ迦^ニ斯^ニ陀^ニ在^ニ阿^ニ那^ニ含^ニ男^ニ
婆^ニ斯^ニ陀^ニ迦^ニ向^ニ斯^ニ陀^ニ含^ニ男^ニ阿^ニ那^ニ含^ニ男^ニ阿^ニ羅^ニ婆^ニ
阿^ニ羅^ニ婆^ニ早^ニ白^ニ早^ニト^ハ法^ニ弟^ニス^ルニ^ハ五^ニ上^ニ布^ニ安^ニ五^ニ下^ニ布^ニ命^ニレ^ニカ^ハ
アリテ^ハ欲^ニ界^ニ也^ハ果^ニ無^ニ也^ハ界^ニノ^ハ三^ニ界^ニヲ^ハ離^ルコト^ハテ^ハ又^ハ離^ルカ^ハ五^ハ
ス^テツ^ニテ^ハアル^ハ也^ハ界^ニヲ^ハ負^ルル^ハ也^ハ無^ニ也^ハ界^ニヲ^ハ負^ルス^ル也^ハ梅^ニ拳^ニ

ノ心ト自慢スルト元明ト云出ツ所ナノ龍ガ引キツメテ是レ之ニ
段々^(印メテ)量量セ大伴ヨリナリタカト思フハ今ノ龍ニ引テハ又々
本トノ如ク過ルナントレテモ二十五年ノ遠クノ根ヲ新カシテハ
又々^メテ^メテ^メ見也見邪見見取見戒禁取見^メ貪欲瞋恚^メ愚
痴有ヤ元ヤノニ妄相アリハ見通ノ位ニ於テ地破石トテ智
恵ヲ以テ皆ナウチクヌテ^{ワレバテラヌ}任舞是レガ十善ノ法門ノ入口
也^メ支那下根ノ凡夫^メ何ント是レガ勤リマセリヨモヤ勤リハセシ
勤^ラミハ大乗十善ノ法ノ端ヲトハ云ハレヌ^メ覺テ七角ヲモ大乗十
善ノ法^メ義ハ^メ龍^メノ根柢ニハ及ビ難ク^メ故^メ暫ク人天ノ善果ヲ
心口^メカケテ^メ誑リニコソハ至ラシニイロソナコト人サケレ^メ以^メ生ミ
人間ニ生シタト思フ心カテ人間ニナレニ余リ難ク
ナコトモアルニイト思フ人^メ龍ノ御文ニ^メ更シ人間界ノ生シ

ウノルコト、誠ニ五戒ヲ持テル所ナキニ、辰リテヤリ、是レ大ナニ希
ナルコトソカシ、五戒ヲ持テバ、人間ト生レ、十善ヲシ修メバ、天上ニ
生ル、ト云コトハ、耳ニハ聞ケル、五戒ノウチマメテ一戒持フ
ノチ又、戒ノエヤ、余ハ人間ニ生ル、トモナラヌ、何モ人、是レシ
見ヨ、大乗ノ修所モナラヌ、十善ノ修所モナラヌ、人間書ウ、
ノ五戒サ、勤ル、トカナラヌ、是レシタテ、何モ知ラシ、人、若シ、諸ヤハ
是モ、逆罪、何モ、是、暴ル、駛雨、是、諸仏、大悲、初、
凡ト、アラキ、凡、ト、駛雨ト云ハ、大地ノウカワホトリ、大ナ雨メ、
ト、凡、又ノ境界ニ、顯シテ、生ル、ハ、ノ世ヲ、雨ニ、御前ニ、
ノ、因、チノ、恐、ロシ、サラ、凡ニ、御前ニ、モ、目ニ、見、ス、レテ、物シ
損ル、ハ、凡、ヤ、我、タカ、**積**、**累**、**顯**、ハ、サ、ズ、レテ、**心**、**々**、ノ、由、テ、人、
損ル、子、メ、ク、ヤラ、ソ、子、メ、ク、ヤラ、**知**、**リ**、**多**、**ク**、**イ**、**カ**、**リ**、**慢**、**之**、**ツ**、**心**、**様**、

サレモ更レシ表テハ出スレテ午モ出難ク獨ルハ大ナ凡ノヤクヤ
トテ暮ル凡ト仰ヤル凡ハ極ニ吹キ雨ハ堅ニ下ル^{スル}海メハ多ク有
乍ラ歸シ思フヤウ何シ思フヤウナ市^チ散^チれシテトコニモ心カ
ハビユルハ極ニ吹ク凡ノヤク^ノ骸メニ現レテ造リト造ル西業^ノ
過エカラ現在々々ヨリ来事ト報ヒ報フハ堅ニ凡ノ雨ノヤク^ノ
マリナ境界フリ^ノ此ノヤクナ心^ノト^ノリテ何ソトシテ^ノ修行^ノカワト
アリセリコレヤ報ルニモヤ^ノ十粒^ノ并^ノ粒^ノ種子^ノシマ^ノ一^ノテモ雲
田^ノ上^ノニ草^ノシト^ノラヌハ^ノ心^ノノ^ノ雲^ノシ^ノ凡^ノニ^ノタ^ノト^ノ一^ノノ^ノ業^ノシ^ノ雨^ノ
タト^ノ一^ノ季^ノ地^ノ獄^ノニ^ノアリ^ノテ^ノ多^ノ百^ノ千^ノ部^ノノ^ノ苦^ノミ^ノヲ^ノウ^ノケン^ノマリ^ノナ^ノ種子^ノ
極^ノル^ノハ^ノ心^ノノ^ノ心^ノガ^ノシ^ノモ^ノヤ^ノ是^ノレ^ノシ^ノタ^ノ思^ノヒ^ノ知^ノシ^ノタ^ノ一^ノテ^ノ是^ノ今^ノノ^ノ
佛^ノ和^ノ聲^ノニ^ノ新^ノ造^ノ教^ノ法^ノニ^ノレ^ノセ^ノト^ノ一^ノ人^ノ又^ノア^ノラ^ノシ^ノト^ノハ^ノタ^ノラ^ノ此^ノタ^ノ諸^ノ衆^ノ
大^ノ出^ノの^ノ地^ノヲ^ノ取^ノ得^ノ上^ノニ^ノヤ^ノ口^ノヲ^ノレ^ノニ^ノノ^ノサ^ノイ^ノ徒^ノウ^ノテ^ノノ^ノガ^ノ迷^ノヒ^ノシ^ノ難^ノル^ノ道^ノ
十

ハコニマル、諸仏トハ、大市恒收ノ諸仏、且ノ六市恒收ノ諸仏、殊ノ
証誠也、實見ハ人ナリ目ノ我ホニ、云々、此生ノ^{（此解ニ）}是ヒリ、情セ、云々、計
ノ証誠也、實見、是ハサレシ、此ノ御和誓ノ、依ルトナル至文
算テ、云々、用キ、首見、一テ、長ラレ、通リ、御用山、主人ノ、御在也、国東、
月行、平太、御ナニガシト云モノ、^{（トキ）}主頭ノ、年ニ、依テ、熊野ノ
権現、一矢多、諸ヤ子ハ、云々、吏ヒニ、云テ、平太、御ガ、思フ
ヤ、算テ、至人ノ、御教化ニ、^{（三）}云々、云々、一太、安、^{（云々）}云々、^{（云々）}
度ノ、熊野、諸^{（モウ）}テ、云々、云々、行、^{（云々）}不、^{（云々）}人、^{（云々）}境、^{（云々）}界、^{（云々）}シ、^{（云々）}キ、^{（云々）}ラ、^{（云々）}メ、^{（云々）}ト、^{（云々）}ハ、^{（云々）}ナ
ヌ、^{（云々）}ト、^{（云々）}地、^{（云々）}鏡、^{（云々）}ノ、^{（云々）}御、^{（云々）}ヤ、^{（云々）}カ、^{（云々）}ナ、^{（云々）}来、^{（云々）}ノ、^{（云々）}天、^{（云々）}長、^{（云々）}ニ、^{（云々）}ハ、^{（云々）}カ、^{（云々）}ニ、^{（云々）}ス、^{（云々）}ト、^{（云々）}思、^{（云々）}フ、^{（云々）}カ
ラ、^{（云々）}ヤ、^{（云々）}コ、^{（云々）}ト、^{（云々）}シ、^{（云々）}止、^{（云々）}ス、^{（云々）}常、^{（云々）}陸、^{（云々）}ノ、^{（云々）}御、^{（云々）}ヨ、^{（云々）}リ、^{（云々）}熊、^{（云々）}サ、^{（云々）}ク、^{（云々）}云、^{（云々）}云、^{（云々）}登、^{（云々）}リ、^{（云々）}五、^{（云々）}條、^{（云々）}西、^{（云々）}
ノ、^{（云々）}銅、^{（云々）}院、^{（云々）}ニ、^{（云々）}在、^{（云々）}ス、^{（云々）}御、^{（云々）}用、^{（云々）}一、^{（云々）}御、^{（云々）}封、^{（云々）}面、^{（云々）}シ、^{（云々）}云、^{（云々）}ケ、^{（云々）}テ、^{（云々）}右、^{（云々）}キ、^{（云々）}ノ、^{（云々）}子、^{（云々）}細、^{（云々）}シ、^{（云々）}申、^{（云々）}
上、^{（云々）}ケ、^{（云々）}シ、^{（云々）}云、^{（云々）}其、^{（云々）}ノ、^{（云々）}時、^{（云々）}キ、^{（云々）}ノ、^{（云々）}御、^{（云々）}法、^{（云々）}談、^{（云々）}ニ、^{（云々）}吏、^{（云々）}シ、^{（云々）}聖、^{（云々）}教、^{（云々）}可、^{（云々）}屋、^{（云々）}ナ、^{（云々）}リ、^{（云々）}イ、^{（云々）}ウ、^{（云々）}シ、^{（云々）}モ、^{（云々）}様、^{（云々）}

相承スル巨益アリ但シ未法今時^ナ聖道^ノ以^テ修^シ行^ニシ^テ我
ズバカス^ル則^チ我未法^ノ中^ノ優^ク々^々衆生^ノ悉^ニ行^ハ修^シ道^ヲ未^ダ有^ル一^人得^ル者
トモ^ニ唯^ニ有^ル法^ニ以^テ入^ル路^ト云^フ云^フ七^ノ皆^ノナ^リ經^ノ教^ノ明^ニ又^ニ衆^ノ未^ダ金^言
ナ^リ我^ニ今^ニ唯^ニ有^ル法^ニ以^テ入^ル路^ト云^フ云^フ七^ノ皆^ノナ^リ經^ノ教^ノ明^ニ又^ニ衆^ノ未^ダ金^言
コノ一^ノ宗^ヲ興^行ス^ル所^ニ以^テ是^ノ長^ニ老^スム^ルト^モ更^ニ私^ニシ^テ又^ニ常^ニ
は^モ凡^ノ情^ニシ^テカ^フテ^サウ^ニ不^レ降^ラフ^モ例^ニユ^トナ^ク行^ハ住^ニ坐^ニ臥^ニ
本^ノ取^リヲ^ナク^テ而^モ元^ノ居^ル所^ヲ稱^スク^ニ無^レ野^ノ諸^ヲテ^ラヤ^ヨト^ニん^ガ彼^ノ
前^ノ御^カ化^ス章^ヲテ^各ク^ニ御^傳ノ^上ニ^テ身^ノノ^通リ^ヲ我^ニ未^ダ法^ニ
ト^仰セ^シメ^テ我^ハワ^シム^ル我^ノ家^ニ我^ノカ^ニ云^フ云^フ今^ノ自^ノ我^ノ未^ダ法^ニ
又^ニ是^ノ岸^ニ尼^ガま^ス本^ノ取^リコ^トニ^思フ^ニズ^ニシ^テ我^ノカ^ニ未^ダ法^ニ優^ク々^々友^ト
仰^セシ^テ自^ノカ^ニ所^ノ法^ヲ教^ス宣^スメ^テ經^ヲニ^至シ^ト思^フモ^ノ經^ヲレ^ル
モ^ノハ^未タ^一人^モナ^ク我^ニ今^ニ見^テモ^ノ在^リシ^ヲ見^テモ^ノ即^チレ^ル縁

上同

ニヤラシ

便リノ尺ニキ果テタル我事カハルツメナキ至愚ノモノ物ハ
唯自降土ノ一ハ計リヤコノユニニ国傳来ノ高僧方々コノ
一ハニ像ニ生ノ先達トサセ之——コノ土ノ衆ノ切シ次第ニ
假土ノ也皆金也ノハナヤカナル証リノ再懷シトゲツナハヌヤ

三朝降土ノ大師等

良醫撰受ニタミテ
真実信ハスメシメ

是聚ノクラ井ニイシメヨト

鑑シテヤラル正像丰降土和齋ト題号ラテ尺加未カ

クレニレシテト仰ヤラルカラ五十八首ノ御和齋サステニヒク

テニモ未法濁乱ノ来ノ世ニ生シタル我ホニ他カノ信ハシ落ナ

付ヌモノニニ陪ヤ吾ハ又育ラ喜ハヤトテ大至規至而致至

ノ御心七高僧ノ御和齋トラ上未細カニコトハラヤシコノ

今此ノ御和齋ハ五十八首ノ中チ第五十六首目ニ當ラセシ

テ七高僧ミナ我チヲ哀セリ。アハシ願フハ降土ニ御坐サレハ
七高僧今時ノミノ送ビシ難ニヤリニ信ヒヲウルヤト御
守リ下メサレト御厨山聖人御自ラ取ラマシタル趣キミツ初
三朝トハ晋天ノ下メ天竺唐ヲ日本ノコトナ六夫國ノ天竺西
白余別ノ唐土也ノ日本トハ三ヶ國ヲサシテ三朝トナフ
大師トハ大導師ト云フハミナヒノ文字道ヲノミ仲ハ
徳クサキ知メ山道ヲイガナル山カアルヤライガナル際キ答カ
アルヤライニ通リナレヌ諸路難ハ一ト是レコトニ徳ク先キカ
元ノチ年ニヨキ案内者ヲ頼メハ心トナ一コトハナク月山ニ
諸君ニ先達カナケハカワテガ知レヌ。六通一立ナ返レハ
先達ハイラセシ永々却ノ初コトニ極テ住生シタル道ヲ節
ナハ直キナレハナラズ先達ガ無フテハハナシ我チが今度ノ

の成

つとやトミコト

隆王采リノ御先達ハ天竺ニシテハ龍樹天親ノニテ何モナ
 部ツノノ論ヲ御作り遊ヒテ隆王陛下ノ道ヲ救ヘテ下ニ
 唐土ニシテハ曇雲道輝善導ノ三祖日本ニシテハ厚信和
 黒名ノ元祖法然上人トナメテク午ニ印櫻ニ返ルオトノヲビタ
 ン御聖教ヲ御作り遊ヒテ出雅解脫ノ要法ヲ救ヘテフハ
 カリソメノミトテムヤイ表態様多シ玉テ真実信ヲ得セシメ
 左メ計リノ教ヲタラノ御骨折テ午ニ我々が隆王ノ御先
 達トシテノヲ御同シ主人是レヤカラハ左ノ御教化ノ御先
 達ニ任セシコナモ御傍ヲ慕ハシテ隆王ニまゐルオトニ我々がモテ
 御アトシ慕ハシ——午取ト云フカニ証文ト云フカニ是レシ
 隆王明王ノ御聖教ヲ御残シテ是レトナリ隆王ノニヤシ保
 テ置セシメ是レヲ正信偈ニ印度而天之壽永中其月域

此ミシテハ性ナ

之高僧ヨリニ朝作エテ諸大師セ高僧ノ御教化ノキツサキハシ
モミキ代ノイタシ目掛ケテ善人ハ善人作ラズ惡人ハ惡人セテ
誤リ果テサヘアリテハ必ス性生カズケテハホトニ是レノ用ケ
是レノ信セヨトアルセ祖ノ御誘^{イサエ}其ノ善人ノ報謝井ハ地光也御
信ニテアリテラ大慈悲也御恩德ノ報謝スルトモフシ正信傳
ニナニトナセラシ其ノ次ニ天親^{ニアリテ}所造^{御本願の教ニ傳ヘテ下シテ}論^{ニアリテ}取^{御本願の教ニ傳ヘテ下シテ}元身之業ト
アラフナニト御示シテ其ノ次ニ本願長云云梁天子常向高處
并礼仏カラノナニハミ代ノミマニ十八願ノ受合スモヤラ其ノ次ニ
道綽^{ニアリテ}交^{ニアリテ}而^{ニアリテ}通^{ニアリテ}難^{ニアリテ}誑^{ニアリテ}唯^{ニアリテ}明^{ニアリテ}降^{ニアリテ}土^{ニアリテ}可^{ニアリテ}通^{ニアリテ}入^{ニアリテ}仏^{ニアリテ}カラハ勾ノ偈又トナセラ
レテ性生ノ通ヲ斷テラ效ヘテ其ノ次ニ善通ヲ明^{ニアリテ}化^{ニアリテ}正^{ニアリテ}意^{ニアリテ}於^{ニアリテ}
哀^{ニアリテ}定^{ニアリテ}又^{ニアリテ}逆^{ニアリテ}惡^{ニアリテ}ト云カラハ勾トナセラシ其ノ次ニ降^{ニアリテ}信^{ニアリテ}廣^{ニアリテ}開^{ニアリテ}一
代收^{ニアリテ}歸^{ニアリテ}取^{ニアリテ}安^{ニアリテ}養^{ニアリテ}加^{ニアリテ}一^{ニアリテ}切^{ニアリテ}ト云カラハ勾ハ極^{ニアリテ}重^{ニアリテ}宮^{ニアリテ}人^{ニアリテ}無^{ニアリテ}他^{ニアリテ}方^{ニアリテ}使

唯稱弥陀得生極果ト教ヘテ又ノ御意其ノ次ニ至リテ
 其師深空明佛為憐愍之聖意以是ト云カラノハタハ近依本願ノ
 南无ミツルン云此ニ御力化應ルニ趣キ其ノ次ニ至リテ吾等
 同山聖人七高僧ノ著ハ吾等ノ御教承シウケトラヤウニテ弘
 聖大士字師等——唯可信斯高僧說弘至ハ至ラヒト云フ
 釈迦傳云フト大士トハ龍樹天親ニ著ノコト常言トハ是聖
 大師ヨリ法然上人ミニノコト極依元邊極得之極依ノ云々
 スクヒスクウ云コト至極得リ早ラタル歟ノ教スモ是也又
 ハ此ノ教スモ元也ナリ其ノ元量元也ノ照シカハ一ツル徒ラ
 モノヲ懸依ナクハ^{是レコト}ハ^ハ以^ハ律ノ本願計リテオホトニ有ル七高
 僧ノ御教承通依得聖意ト云通ハ出家修ハ在家坊
 主モ在家モ同一云云元別同教ノ一味平等ノ他力信心

ヲ得テ我レヒト一月ニ性生極手ノ素懷ヲ遂ケヨトノ御
同山聖人ノ御教化是レ全ク親言山ガ發明^{カク}ヤトハ思フナトテ
唯可信斯高僧貌三朝聖ノ諸大師ノ直ノ御^{ヒキ}ヤノ終^{ヒキ}ヤトニ
是レ計リハ是ウナト仰^{ヒキ}ヤ^{ヒキ}ナント難有ハナ^{ヒキ}イカ^{ヒキ}ナシクハ^{ヒキ}過^{ヒキ}レ
天竺ノ龍天ノニ芥ノコトヲ耳身申スハ御同山聖人ノ御影^{ヒキ}
若シ此ノ御同山ノヒシスラノ御教化ガナクハナント^{ヒキ}ヒシ^{ヒキ}知^{ヒキ}ラフ^{ヒキ}ノ
客土ノ墨雲^{ヒキ}大^{ヒキ}師通^{ヒキ}輝^{ヒキ}禪^{ヒキ}師善^{ヒキ}通^{ヒキ}大^{ヒキ}師ノ御化^{ヒキ}道^{ヒキ}す^{ヒキ}理^{ヒキ}リ^{ヒキ}シ
モ毎朝^{ヒキ}毎夕^{ヒキ}ニ此^{ヒキ}持^{ヒキ}念^{ヒキ}ニ向^{ヒキ}テ片^{ヒキ}記^{ヒキ}文^{ヒキ}リニモ拜^{ヒキ}讀^{ヒキ}
致^{ヒキ}シ身^{ヒキ}スハ是^{ヒキ}レ上^{ヒキ}ノ御同山聖人ノ御相^{ヒキ}表^{ヒキ}ノ御影^{ヒキ}ケト
イヨク難有^{ヒキ}是^{ヒキ}レ上^{ヒキ}ノ其^{ヒキ}ノ次^{ヒキ}ニ至^{ヒキ}リテ哀^{ヒキ}慈^{ヒキ}揚^{ヒキ}々^{ヒキ}ニ至^{ヒキ}テ真^{ヒキ}實^{ヒキ}
信^{ヒキ}ツス^{ヒキ}メ^{ヒキ}レ^{ヒキ}定^{ヒキ}意^{ヒキ}取^{ヒキ}ノ信^{ヒキ}ニエ^{ヒキ}レ^{ヒキ}シ^{ヒキ}ノヨ^{ヒキ}哀^{ヒキ}慈^{ヒキ}トアルハ哀^{ヒキ}ハ慈^{ヒキ}ニ
照^{ヒキ}ハ此^{ヒキ}ノト客土ノ人^{ヒキ}師^{ヒキ}也^{ヒキ}也^{ヒキ}ノ二字^{ヒキ}ニレテ御同^{ヒキ}カセ^{ヒキ}共^{ヒキ}

御免山聖人ノ御取ニニセ高僧ニ白々之ヲ弟子ノ不便ト思ヲホシハ
サバサミトゾク私ガ心ヲ御スイサフノ上メヌ是ノ心ヲ
離シテ眞実信ヲエセシメ是聚ノ信ニ入ルヤウニ哀ミキ
御守リ被下トセ高僧一祈リ取ツマシタルコトマシテトフヤ
御同山ノ思ヲホシ自カクサイヤテ合点ガ性カヌ常ニ自カ
性ヲヨ計ヒシ入ルナトアリトセ高僧一祈リ取ツマシタルハ
トウブトコウ申スニイヤ自カテハナイヌ是ノ心ヲ離シ
眞実信ハ鎖解ニナリ耳テ是故彼市ニタノ加爾カハリカシ蒙リ
念仏性生是ニナシト月去度鎖解ツキ度付ツキセントヨリスヤ
ナル御心カラセ高僧一加爾カシ請セシタル一丈ハ御
同山聖人計リテナイ唐土ニ善導大師ニ誦ムニ誦誦シ
請ヤシ念仏性生ノコトアリシ御教化道シタ眞實信ハ

仙

生生之義

二ノ
佛

留トミマ

越後國車ノ

荒

後方ノ部化ニ身

諦ル者ノモアリヌレト

御成親王

名号

取
手
上

夢三之生ヲ

コレヲ悉クス 増ス 稱名ノ信仰ヤヨ

○他カノ信仰ハヒトシウヤニオホキニヨロブハ致主也有ハホメタラト正像

半佛和質ニ顯シテサヤラルコノ佛和質ハ大吾皇ヲ奉為佛法能

不忘見教得大慶則我々善親友ト云至スル和ケサ之是シ

ヨリ次ニ三朝隆ホノ大師等 良徳信受ニ至ニ定聚ノクラ井ニイ

レシメヨ 三朝隆ホノ諸大師ナトソ良徳ヲタシテ他カノ信仰シ

定是スルヤリニ佛尊ニクメサシ 廿二日ノ地獄ニ落ル候

ブヤノナリ 定聚ノカスニ入シメ玉ト三朝隆ホノ大師等ニ

佛能ヒサシムルコトハ オホセラレタ 昨日身即ノ通り 其ノ定聚ノカズニ入リタ

ルヒトシ只今ノ佛和質ニ他カノ信仰ハヒト、仰ヤラタ 其ノ

他カノ信仰ヲ定是シメルモノハ 新地岸尾家ノ三子大十世早

ニナラビモナキ 我カ善キ親友友童ニモト仰ヤラビ 七ツ部ニ

他カノ信ニウレヒトフトハ、十方ノ衆生、誰レテアロウモ、胃ッミセヨ
サコミセヨ、宿善善業、皆コレテ、善知クテノ、御教化カ、性キ、由
エテ、極ハ、極、ミ、キルト、余ノコトハ、将明ゼシ、念仏、生、
額解ニ、落、自、一、タル、モノ、コトシ、他カノ、信、心、シ、上、タ、ヒト、御、セ、ラ
レタ、其、一、次、ニ、ミ、ユリ、シ、ウ、ヤ、ニ、オ、オ、キ、ニ、ヨ、ロ、コ、ハ、ト、アル、ハ、其、一、ノ、他、カノ
信、心、シ、上、タ、モノ、キ、ナ、ニ、一、ホ、レ、ラ、ネ、サ、ヤ、ウ、シ、テ、即チ、御、至、ス、
見、敬、得、大、慶、々、ノ、御、善、業、サ、テ、コ、ノ、他、カノ、信、心、ウ、ル、ヒト、フト、ア、ン
シ、ノ、假、名、ヲ、ハ、^{トゴ}キ、ル、業、ガ、過、フ、メ、ヤ、ウ、ニ、云、有、ク、アリ、テ、ハ、ノ、假
名、ナル、一、シ、ト、云、ヒ、夫、レ、ハ、大、キ、ナ、心、ト、一、過、ト、云、モノ、勿、体、ナ、イ、コト
ヤ、御、同、山、衆、人、ノ、御、善、業、ノ、ア、ド、^コキ、ル、業、ハ、云、ニ、及、ハ、ス、四、声
清、唱、ノ、上、ニ、ミ、ル、コ、ト、モ、カ、レ、モ、周、遍、ニ、ハ、ナ、イ、キ、ハ、ノ、己、
ト、云、キ、皆、フ、ハ、ナ、イ、ヤ、ハ、リ、御、和、聲、ノ、終、^ミ、他、カノ、信、心、ウ、ル、ヒ

トリノヲノ飯者デ能ク聞一ルノナヨツト聞一テハ他カ信ハレ
 ヒトヲウヤニイハ教ウ其ノ人ヲ尺迦摩ノ質ノサセ之ヲ我カヨ
 キ友達トナト仰セラレマリキコルヤリサセサウテハナリ見教
 得大慶ノ上ニノ至又ニ聞ハ能ク不_レモトアル法ヲ聞一テ能ク不_レモ
 ハ信_ス意_ノ心_ノコト能クトハ性キタラヌミナラ性キスキレモナラ
 能ク_レ定_レ晴_レテ能ク念_ハ念_ハ性生ト信スルコト不_レ妄トハ一得永
 不失一度_ニ得タル信_ハラニ度_ニ生ハヌコト_ニ信_ス今_ハ正信得_テシ忘_レシヌ
 ト云々六トコテ思_ヒ出_レテモ性生不定ト思フコトナクアル徒ラモ
 一_ハ次ノ至又ニ見教得大慶_トアル見_テ教_ウトハ云何ナルモグ
 得_テ大慶_トハ云何ナルコトト云ニ見_テ教_ウ一キハ口は味ノ御安_ニ得_テ
 大_ニ慶_ト一キハ今度_ニ極_ニ至_リノ安_ニ眼_コニ_ニ波_シ市_ノ御安_ニタ_ニ種_ニ
 奉_リテハ_ハ私_ニ一人_ノ巾_ヲン_トテ_ハ立_テ却_テ永_ニ却_テ御_ニ苦_ニ勞_ニ下_ニ助_リ而_ニ

私レシハ脚ケ下メサル、本_レ身成就ノ御_レ法女デアルモノヲモテ、_レ茶_レ教_レ等
重ノ思_レミガエルヤカラサルヲ見_レテ教_レフト云_レ得_レテ大_レ愛_レブトハ
弘_レ誓_レ強_レ縁_レハ多_レ生_レ難_レ過_レ、真_レ愛_レ信_レ信_レ信_レ却_レ返_レテ獲_レトアル他_レカノ
信_レ心_レシム今_レニ不_レ思_レ義_レニ得_レテ奉_レリタレハ、オ_レリハ_レキニ異_レチノ迷_レミヲ
准_レ目_レ出_レ度_レ際_レホ_レ来_レル_レ心_レトナシ下_レメサレタルハ、サ_レテモ任_レ合_レナ
我_レ心_レテコソハマシト、顔_レ亮_レ踊_レ躍_レノ_レ心_レニ任_レシテ、御_レ愛_レ也_レヲ亮_レア
ノ_レリ得_レテ、度_レブト仰_レヤラル、ソコ_レシムテ、御_レ愛_レニ_レ教_レヒオ_レキニヨ
ロコ_レバト_レキヲ_レ教_レヒ_レ大_レキニ_レ度_レブト_レナ_レバト_レテ_レ候_レタノ_レコ_レホ_レヒテ_レ念_レ化_レ
申_レサル、計_レリシ云_レニア_レラス、深_レ信_レノ人_レデ_レナシ_レヒ_レ中_レニヨ_レリテ_レハ_レ候_レタ
ハ_レコ_レホ_レル、エ_レノ_レが_レ道_レ理_レニ_レシ_レキ_レア_レケン_レア_レツ_レリノ_レ名_レウ_レル_レリ_レナ_レド
シ_レキ_レテ_レサ_レニ_レ義_レ理_レノ_レ極_レリ_レタ_レル_レニ_レハ_レ候_レカ_レヌ_レアル、増_レテ_レ此_レヤ
大_レ聖_レ世_レ名_レヲ_レノ_レ御_レ愛_レ也_レヲ_レ助_レル_レツ_レキ_レ心_レテ_レモ_レサイ_レセ_レノ_レ念_レ

仙性生ト云 理リシ 愚痴ナリ 丈ニ 志ヒト 受ケ合スリ 名メニ
談セラフ 御法川 其レシキ、道理至極シラン 深心ノモノ
ナレバ 候タハコホリ、答フ 丈ヒシ 教ヒ 大キニ 度フトハ 仰セラフ
ウヤミウトハ 近ク云フハ 白ラ 案^{アホマ} 此ノ 市ヲ ヒクメル 心口 白シ
崇メルハ 法ヲ 信スルノ 深信 此ノ 市ヲ ヒクメルハ 毎シ 信スルノ 深
心 鑒^{ヨリ} 却己^{ヨリ} 来ッ 常修 常流 轉^メ 照^スキ 縁^ノ 便^ニ 有^ル 出^ル 産^ル 之 縁ノ
随^フ 之^ノ デ 子^リ ニ 云^フ ト 此ノ 市ヲ 候^リ ナク カケコナリ ワキ メ^レ タル
ガ ヒクメル 法^ノ 云^フ ノ ハ シ^メ ル 法^ノ 云^フ ノ ヤ カル 之^ノ モ 御 頼^ミ 申^ス 計^リ テ
極^メ 手ノ 性生トハ ヤレ 難^シ 自^ラ ヒコト デ ア^ル ソト 不足 ナリ 先^ニ ブシ 教ヒ
オホキニヨロコブト 仰^セ ラフ 其ノ 不足 エラ 先^ニ ア^ル 其ノ 市ノ
本^ノ 心ニ 願^ヒ シ 尺^ノ 此^ノ 岸^ノ 尼^ノ 来^ル ノ 御^ノ 意^ニ 叶^フ ニ 依^リ テ ソノ 聲^ノ ノ サヤ
ラ^フ テ スナハナリ カ 視^キ 支^ツ ソト 仰^セ ラフ スナハナリ 其ノ 一ハ スク

ニ云 吾等ワヤトハ秋葉ノ御自ウツ指ヤシヲワカトシテ親
友トハ親ハ近ヤリト有テ隣カラズナカレキヤ友トハ同志
云友トアリテ貴賤貧富ニヨラス惣メ士女ノ同シナルモノ
ヲ友ト云○御書中ニ四ノ友ヲ説テ置セシメ一ニ萃友也
春ニ及ビ一樹ニ是ハ花見物ニテツノチノ下メテホニ友トスレバイウノニカハ
花落スハ五十日無テモツイブツノ木ノモトヨリワクモノハナイ
評友也カトヨリワカ膳手ニカキテ身リカメヨリ友トナル○世ノ中ニ茶酒
一友ハ多クケレトウツ引ミル友ゾカクナキニハ大蛇友也カト
コレヲモトノ友ナリ頼ニスギハ四ノ山友也凡ハ吹ケル山ハ不レ動カレハ
大地ニ市ノ草木等ヲ能ク見るヨリカメヨリ友トナル
善友ヲ修スルモノカ云フシ好ムモノヲ以テ友トハイハズ云フ好ム
モノガ善ク修スルモノヲ以テハ友トハ云ハヌ善人ナラハ同ク
善ク修スルモノ云々人ナラハ同ク云フシ造リモノ一ツ心同シ
コレノモノヲ友ト云カハ和質ノ依ルホトナニ大至ニ人善

親友ト仰せられ、其ノ善ハ一面ニ對スル一面ニ對スルハナク
御法ヲ身身ニしてソレリアサケリ又タハ表テハモブヤラ
ニ見テ之内心ニハ念仏性生リアサトリ覺ヘ、是ヒアヤブミヲ
シロクキ草ラノコト、祇迦摩ノ善親友ト仰ヤコタハ吏シラノ
コトテハナリ、彼方ノ思召シハ、爾其名号ノ信ハ如是ト念仏信心
得テ守土ニ奉シト人ガ祇迦摩ノ御金言ヲ、其ノ御詞ニ背
ス爾其名号ノ信ハ如是ト極手奉リニ是ヒ情シテ、是ヒ念仏
申セハ、彼方ノ思召シ、此ニ依テラフ賢メサセテ善親友ト
御聲望在シタ、常ニ御念山聖人ノ友ト仰せられハ、佛界
カラ彼方ノ御成シ自史思メヒキ下リ玉テ我オラ友ト仰セ
られ、此ハ祇迦摩ノ友ト仰せられト、御念山聖人ノ友ト仰せられ
ハ言ハ、善親ト云ヒテノ祇迦摩ハ他カノ信心ナラヒトシ佛々

中用一引キ上ケサセうしテ入ナハナカ親友ソト御存見ノア
リベサレタ冥加ニ余ル仕合ハ我レ人ノ成ノ上ニ増田母ヲ申セバ
新迦岸厄加来ハ三界ノ初尊ナ今日ノ我オハ廣地底下ノ
賤^シレマ又々因註シ申セハ新迦来マハ一切種智ヲ返延
スルエテ本業ノ教スハナニオトアリテ三千大千世界ノ大
地ノ皇サハ何ニオト有ル由ニモ明ニ御知リ去レガ彼前
御因註ヤ午ルニ今日ノ我オハ元智ノ上ノ愚人ナレハ紙
一枚ノカケノコトサレ見有ルコトナラズ又々今日ノウチニ明日
コトヲ量リ知レコトナラズ又々後日敗レ又ナレハ我智他カノ信
心ヲ正メハコト大聖世尊ノ御自ラ我リ善^キ親友トハ御也
タ新迦来来計リ友ト御也ラレニハナリ御至ノ中ニ炊瓦信
元^キ定^ヒ有^ルハミ諸^ノ厄来^ト等^シレモ或ハ如來弥勒尼使同弥勒尼

説やうに信やまは是ノ行有ハ諸仏ニ等イノ弥勒ニ等イ
ト御賢ノ道也、又トヒ八万ノ法藏ヲ知ル智有善人ナ
リに信やう信ふハ弥勒ニ等イナラシ同ト云ハシ如来ニナラシ
等シト云ルハコトハ凡ニ一又不智ノ凡人通ニサニシキ
又作造心ノ在丈ナシに仙智也カノ信やう信ふハ六ツク土ニ
有ルヲチカラ諸仏ニ等イノ弥勒ニ同ト云ハシ余テ終ニハ
弥勒并ニ先達ニテ大般涅槃土ニ上ノナキ仙果ノ諸
シヒラハ信やまは是ノ心ノ上ニ相定カシ御ク信ふて
祖師聖人御教ニ入ニ願海ニ深知佛身ト御己証ノ御書
中ニ願シテサヤラニコノ御己証ノ趣キハ須弥山モ高シト云ハ
カノカキリアリ大海モ深シト云ハ三ツノ高トカキル佛身御身
ノ深高ナレトハ真ノ海ヨリモ深ク山ヨリモ高ク廣大ノ御

恩をト云フコトヲ、吾人ノ御心ニ引受ケサセラセテ、御心ヲラヤラ
 リ、其ノ趣キヲ正像半降土和賢ト題シ、於テ、康元二年二月
 九日ノ夜、夢ノ告ケラ蒙リテ、サステミヒリテ、
 今日ノ夜、夢ノ告ケラ蒙リテ、御心ヲ遊ヒ、謂フ、五十八日ノ
 和賢ト連シ、其ノ夢五十八日ノ月ニ。如キ大勢ノ恩徳
 身ヲ秘ニシテ、報ス。お小フク多キテ、謝ス。ト、
 御主知ラノ恩、
 御和賢、尺迦加来カシミシク、二十余年ニテ、
 仰ヤル、ヨリ、大ニ量寿を、規量寿を、
 御相承ヲ守ラセ、弘胤也カノ金剛ノ信心、念仏往生ノ御理、
 御自心ニ、長ハセラシ、吾自ノ衆生ニ、傳フ。効ハメキモ、
 信心ノ一ツ、聞カセタイモノハ、極キ往生ノ道ナリ。念仏ノ理、
 八十歳ニ及バセラシ、御老後ノ痛ミヲモカヘリミ、五ハス、五像

末ノ一帖、御和齋ヲ御精作アラヤラハ、其ノ源トハ、岸土和齋
 ノ最取初ニ、弥陀ノ名号トナシ、信や三つニウレヒトハ佛具書スル
 オモヒアリト御手ニ遊シタ、是ハ信やヲ御カメナク、ニカク、其
 次ニ、御右ヲ存ス信生ハ彌陀ノ名号ヲウメセテ、信生ハミナシテ、スツトフト
 キタシ、是ハ是ニシテ御所リセタメニカメ、三帖一部ノ大意ヲ
 アノ二首ノ和齋ニ顯セシメテ、三帖和齋ノ大綱ヲ云トキハ、岸
 上和齋ノ初メヨリ、正像末ノコノ如キ大也、信生ハ三帖ノ弥陀ノ名号
 トナシ、信や三つニウレヒトハ佛具書スルオモヒアリ、信生ハ趣キテ、信生ハ性
 フ度リシ、我オシテ御カメ、アハカル、是ニヨリ、信生ハ性キ不了、信生ハ仙智、信生ハ念
 仙生ノ一段ニシテ、アヤリク思ヘ、信生ハ是ニシテ起スコトシ、御所リナク、
 我取不思、信生ハミナシタカヒテ、信生ハ信生ハ、信生ハミナシテ、スツトフトキタシ
 趣キテ、是シヨリ、信生ハ次下ノ和齋ニ、御手ニセシメ、サテ、信生ハ今ノ御和

質ノ趣ナシ宿願一奉ルニ善導大師ノ御教ニ連即累印ニ以テ
骨體佛恩申奉報謝本心契可ト御教道ニ又シ御同
山聖人ノ兄弟子ト教ハレモ正覺法印ノ御教ニ情思救授
恩德殊殊陀也取奉可報骨體以テト示セシメ
コノ善導ノ御教ト正覺法印ノ教又ト一ムト思ヒ
ニ見レハ善導ノ御教ハ如來大教ノ御教ノ方々御教
正正覺法印ハ善知タノ御教ヲ教ヒ貴ヒコトヲ顯シ
セラルマシラ今ハ一有ノ御教質ニフクミヤウシ一方ハ業
御恩一方ハ善知タノ御教以テ務ニシテモ報スル骨體
體ハモアヤメラフ佛祖ノ御教後ラ我ハ封シテ如來
御恩ヲ報スルハコノヤウナ心口存ナク善知タノ御恩ヲ報
スルハコノヤウナ心口存ナク我ハ物子ノ中ニシテ其

ヤナコトシ差別セヨトハ御覽ラヌ、如来ノ御身ト云テ善知ヲノ御身
トモセ、口フメ一ツノ而テアロムヲ存クルコトヲ救ヘサセラヌ。御社賢王
マツ神ニ如來トアルハ、^{ニキル}飾コトモナク、舞奉ルア沙埴大寺也ハ佛心者
大並也是レ、ア沙埴ノ御心ヲ大寺ト云、此ノ和賢ノ次上ノ御心
賢ノ兼四ツニ、政主世系ハオメタマフト有リ、是レヲ思ヒ合セテ、友
如來トアルハ、新迦婆ノコト、云モアリ、^{カハラ}吏レバ、聖人ノ思召ニ當ル又
善導大師ノ御意ハ之、何ハ正クコニ傳トアルハ、ア沙埴ノコト大
出トアルハ、ア沙埴ノ御心、人ノ心ハ表テカラハ見「ヌモノ止」に
イデカイニハ云ハレヌ、右ト云ニ、^{カハラ}曉ルコトアリ、吏レガ表テ、^{カハラ}又々
感「ワカミ」荒ビアレハ、吏レガ表テ、見「ルモノヤ」、今ニ、假市ノ御心
モ、因「テ」大寺也、外「ハ」現「テ」牢坐ラ物「ケ」ヤ、救ヒ「メ」ヤト思召
レラ、假市ハ累劫ノ御者當アラセラルシメ、此ハ假市ノ御心ハ、若シ

板ヲテテラフニ一タト思召スガ品殊ノ御心カキセノ中ニ大智ノ
子ヲ得タ親ヤノ意カキ人明ラニ負目ナク子共ノ心ノ上ニテ苦ニイダ
レ人並ミニモ性ガ屈ケカシト思フハ親ノ恩ノ全ニテ品殊ハ我
ガ連却思召知ノ通ヒリ假テ朽リニカハラヤラシテ師苦節アラヤシタ
シ御恩ト云其ノ御恩ハ五却思惟ノ本取ト云モ非我我知ノ修
只我ホ大ニテ行トイフモ一ミリスト師文ニ師セリシ人我ホ品ノ意大ノ御恩
明ク玉ハシカクマシ方便ニテ妹ヲ御キカヤホル御救代ナシ其ノ次ニ至リテ師主知ヌノ恩傳ト云
御幸當リハ我ホシノ本取ヲ真直ニ御傳ヘクメサルハ師主知ヌニ相
市仙家本取ニ在リ其ノ善知多クハトナメヤト云一人指シ書留リテハ我ホカ考メ
善知多ハ御用山聖人ノ御相表ノ京ニノ善知多ノ御用山聖人ノ御心ノ
上ニテ善知ヲトブルハ法物上人活物上人テ云ハ信信和尚道輝

量密天親
龍樹尺也株
第十八歌ノコトハリテ御便一クメサル根本ヲ云ハ八歌

迦摩加善知ヲテシハシテ、作土川ニシテ、佛息師息シ、令ルトキハ、
根本シテハ、夜迦加来シ、善知ヲノ息トスル、ア以焼シ、佛息トスル、其
ア以焼ノトリヅキシ、カレメ、善知ヲノ夜迦加来、此ノ世ニ佛出セナク、念
仏ヲ弘傳スル、コトナシ、バ、新我、六ノノ、アラフ、佛、阿ス、キ
ヤ、六、夜、迦、加、来、ノ、佛、息、モ、タ、ブ、ル、ア、ル、是、シ、オ、ト、ノ、息、ノ、ア、ル、秋
迦、加、来、ハ、此、ノ、作、土、真、卓、ノ、佛、法、流、ニ、於、テ、モ、大、聖、夜、迦、加、来、ノ、佛、姿、タ
シ、上、ノ、佛、本、山、ヲ、初、メ、ト、モ、ハ、佛、来、守、ニ、至、ル、ニ、テ、モ、イ、デ、ナ、ラ、ハ、大、息
夜、主、夜、迦、加、来、ノ、佛、姿、タ、シ、佛、教、ニ、申、シ、サ、ラ、セ、ノ、キ、ル、シ、教、タ
ニ、シ、テ、ハ、代、宗、来、川、ニ、對、シ、テ、ハ、流、シ、波、川、ト、ハ、ト、ゴ、ト、ナ、ラ、片、タ
イ、シ、ス、ホ、メ、ル、ヤ、ラ、ニ、思、フ、コ、ト、ヤ、カ、何、ント、レ、タ、モ、ノ、ソ、ト
ニ、丈、シ、テ、ス、忠、臣、ハ、ニ、君、ニ、使、ス、是、シ、モ、夜、迦、加、来、ノ、佛、ヤ、シ、守、リ、テ
ノ、コ、ト、ヤ、其、ノ、佛、ヤ、ト、ハ、大、聖、量、者、至、ニ、向、壽、念、量、者、仙、ト、號、シ、テ

金剛心ノ行名ハ必スニ仏ヲ受ルナト有リ又レ計リテハナイ汝テラ
ニ此ノ法ヲ説クニ因カヤモ来ノ一大長ヲ致クメニ信テ我レニ向
テ礼シ云ハトハ仰ヤクヌホハ新迦雄ニ向フタトキハコウア向雄ニ
向フタトキハコウト我レニ對シテ新迦雄ノ御恩ヲ各別ニ思フコ
トハ仰ヤクヌ候ウ金剛心ノ行名アリ雄ニ向フテ御並也シ元
ハニ仏一印仏ノイハレサハ此ノ方ニ於テ南天所印仏ノイハレワカチハ
知ラサレニ念仏行名ノ而テア沙仏ト稱スルハガウサレニ新迦雄ノ御
恩ヲ報スルニ當ルイハレガレ世間ニシテ子ノ方々ヨリ親孝行ヲ
云テハ孝行ニハタラセ事ニヨラス親ノ恩ニモドカズ云ツケノ
通リニスルコトニ親ノ心ニ叶フ迄カラ孝行ハ各ガ立ツキニ新
迦雄モ之ノ本取タル念仏ノ信アリテ律土ニ立シトルガ
新迦雄ノ御恩ヤ其ノ御恩ニソムカス一モバハノ本取ニ叶ヒ

我迦ノ思フニモ叶フセ高僧ノ御心ニモ願し御風山聖人ハ
降エニオハレニレテ久キタノ苦勞カイガ今ニ歸シタトモヤラレ
具ノ假市市メノ御心ニ叶フ返リテ報スルハ名ハ立ツテ事ハ大
悲隱ニ西家ヲ教馬テ入火宅ニ一ト大聖祈迦牟尼佛此ノ上ニ現
おハ今日我キヲ道ヲク及メ計リニ現しおハ是しニ願ヒテ云ハセ
高僧ノ御見ハ云ニ御風山聖人ノ御見ハ云ニ余ノコトハナイ而無阿
沙仏ヲ稱ハスゴト云ハ報ハ報謝ノモテトキク念仏ヲ申スコト存
セラレシ其ノ次ニ云フ稀ミレモ報スシ骨シタキテモ謝スシトアル
云トアルハ我ヒ人ノ五百年ノシムラニ四十九堂ノ皮是シク云ト云骨
トハ三百六十ノ皮月子ノツガイノカアルガテコノ御和寶ニ命主知ラト見
ハ御風山ノ御心ニ云フト我ハミトリテ云ドノカハリカアルモ是レシ
指シ當テ御風山ノ御自云フ命主知ラト云ハ望ミ真宗ノ風キ

念仏往生ノコトハリシ教一タニ依テ、コナニ白ウテ、骨ヲ催フニ思
シ報セヨト仰ヤラレ、ヤリニキエ、聖人ハサウハ仰ヤラヌ、又更ニテハ聖
人ノ思召ニハ叶ハヌ、仰同山テ云ト、我我チテ云トノカ、リガ、見ト云
スハ、コノコト、仰同山ノ、仰自、我ニ、仰主知ヌ、仰同山ト云セ、又タハ
我我チ知ヌ、初メト、レテ、セ高僧ノ、指セ、レテ、仰主知ヌト、仰セ、又タ
是、レヲ、我我チニ、取リ、テ云フ、中ハ、仰主ト云ハ、仰同山、聖人、仰一人、知ヌ、人
京ノ、善知ヌ、コト、如来トアルハ、ア以、身、如来ノ、方メテハ、我我チ、希ミ
善知ヌ、方メテハ、骨シク、メケト、玉フ、骨ハ、聖シ、我我チノ、方メハ、怪ミ
思フ、モノ、モアル、其レ、ラハ、大キナ、心ト、違フ、ヒモ、人ガ、我我チ
骨アリ、骨ミ、レ、4ラハ、隔リ、アル、今ハ、思召シ、報スルニ、怪ミ、聖ハ、ヒ
善知ヌ、仰思、上ル、如来ノ、仰思、ト云セ、余ハ、ハナ、イ、而无、尸ハ、何ヲ
希ミ、仰思、我我チ、相續、致シ、仰思、我我チ、我我チ、アノ、シ、仰思、我我チ、報ス

ト云、一寸、^{コソ}糸^イ糸^イ、^イ出^イ、^イ雨^イニ^イフ^イラ^イシ、^イ傘^イヲ^イ借^イリ^イテ^イサ^イ、^イ皇^イマ^イヲ^イ雨^イノ^イフル
目^イハ^イ思^イヒ^イ出^イル^イ、又^イタ^イ糸^イヲ^イ云^イハ^イハ^イナ^イラ^イヌ^イモ^イノ^イヤ^イ、糸^イニ^イ我^イ人^イハ^イ生^イキ
セ^イ々^イ、^イ脚^イル^イギ^イイ^イテ^イモ^イ、^イ心^イト^イモ^イナ^イイ^イモ^イノ^イガ^イ、^イ此^イノ^イ度^イ、^イ彼^イ等^イノ^イ御^イ苦
常^イノ^イ御^イ影^イケ^イニ^イ依^イリ^イ、^イ生^イシ^イノ^イ途^イケ^イ天^イキ^イル^イコト^イナ^イハ^イ、^イ常^イモ^イモ^イニ
モ^イモ^イ、^イ心^イヲ^イモ^イナ^イゲ^イラ^イフ^イテ^イモ^イ報^イズ^イキ^イ、^イ雨^イ山^イノ^イ御^イ身^イ、^イ彼^イ等^イ前^イ
ハ^イ我^イ等^イニ^イヤ^イラ^イセ^イテ^イハ^イ、^イセ^イメ^イテ^イ一^イ日^イユ^イル^イく^イト^イ、^イ御^イ心^イノ^イヤ^イス^イル^イコト^イモ^イナ^イク^イ、^イ御^イ
身^イヲ^イ御^イ苦^イヲ^イア^イラ^イセ^イテ^イタ^イ、^イ是^イレ^イホ^イト^イ、^イ御^イ身^イヲ^イ蒙^イリ^イケ^イラ^イ、^イ我^イレ^イモ^イ人^イモ^イ
セ^イメ^イテ^イヤ^イセ^イメ^イテ^イ、^イ一^イ日^イノ^イヒ^イマ^イヲ^イメ^イシ^イ、^イ御^イ意^イモ^イモ^イモ^イモ^イナ^イク^イト^イモ^イナ^イク^イ、^イ御^イ法^イヲ^イメ^イク^イ
一^イ段^イニ^イフ^イテ^イハ^イ、^イア^イワ^イテ^イノ^イサ^イハ^イヒ^イノ^イト^イア^イド^イサ^イリ^イス^イル^イ我^イ等^イ、^イ是^イレ^イハ^イナ^イキ^イト^イ
^イス^イレ^イバ^イト^イ申^イス^イ、^イ能^イク^イ、^イ皇^イ大^イノ^イ御^イ身^イ、^イ御^イ身^イヲ^イ海^イニ^イ山^イニ^イヒ^イタ^イト^イ
方^イメ^イノ^イヤ^イ、^イ皇^イ大^イノ^イ御^イ身^イ、^イ若^イト^イ云^イコ^イト^イヲ^イ知^イウ^イヌ^イモ^イノ^イ、^イ皇^イ大^イ云^イコ^イト^イ
ヲ^イ知^イヤ^イタイ^イト^イテ^イ、^イ心^イヲ^イ祐^イニ^イセ^イヨ^イ、^イ月^イヲ^イ權^イケ^イト^イ、^イ御^イヤ^イラ^イル^イ、^イ御^イ救^イ也^イ、

実

或ラ粉ニシ、由リシ體ハタトシ、^{ちうく}九々カ一七、御見報スルハ

タハザレ、情以情奉トテ、^{レヤウ}生アルモノ、イワテラレカルモノハ、

や、奉テリ、或ラ情ニメハトテ、^テ更レラ、御見ラ報トハ云ハ

或ラ粉ニシ、胃ヲ體ケト、御ヤルハ、ヨクク、^報レ、アキタリノヤ

童大ノ御見、^{報見ラツトマヨ}情ナレハ、人用ノヤイ一、^分報、^報相、^報名、御

出シ、^{報見ラツトマヨ}先ノ御、^{御ヤラルハ}報、^報相、^報名、御

モ、^{御給ハカ申サレト}更レシ、御見ラ知リラ、ヤタハ思フナ、子ヲ持テコソ

ノ親ノ見ハ知レリ、——^定トノ、^報相、^報名、御見ラ知ルハ、^報相、^報名、御

集リテ、^報相、^報名、御見ラ知ルコトハ、^報相、^報名、御見ラ知ルコトハ、

遂ケ、^報相、^報名、御見ラ知ルコトハ、^報相、^報名、御見ラ知ルコトハ、

彼方ノ、^報相、^報名、御見ラ知ルコトハ、^報相、^報名、御見ラ知ルコトハ、

ル、^報相、^報名、御見ラ知ルコトハ、^報相、^報名、御見ラ知ルコトハ、

古

ツリヤレモウレシヤ市仏上玄真下ニナリタメルヒトナラハ
トコテナニキツエノ余ハヲハルモマヨ余ヲ終り次大ニ
分ヲ煉ノオヒサモトニ世トケアヲタノ永カ効ノ御礼モ
申上御用山聖人ノ御苦勞ノ御礼モ申上シモノヲト
思フナラハ余々ノアルデイメハ御恩報射ノ称名ミケ
大ノナキヨフエにカケラレフ尚モモソツト申サカセモ
長座ヲオソシ在略致スルハ奉ル安ハノ中カミハ
ミドリノ御文ナシハ心ヲミツメテ且早ア山ヲ

